

脊髄刺激療法 SCS 手術が 当院で可能になりました

これまでに
7例を実施！
※2026年6月現在



2025年7月より、難治性の慢性疼痛に対する治療の新たな選択肢として「脊髄刺激療法(Spinal Cord Stimulation 以下 SCS)」を導入しています。
1960年代に始まったこの治療法は、世界ではすでに25万人以上が受けており、国内でも1992年に保険適用となって以来、1万人を超える実績があります。

目標は痛みの半減！

脊髄刺激療法は、痛みの根本を治療するものではありません。あくまでも、痛みを緩和し、生活の質を向上させることを目的とした手術です。

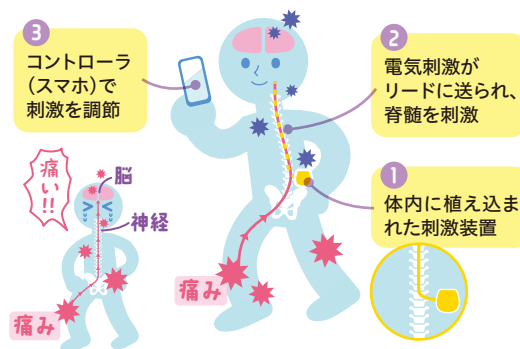


痛みがやわらぐことで、
活動の幅が広がる！



植え込み型手術 脊髄刺激療法(SCS)のしくみ

通常「痛み」は神経を通して脳に届きますが、その伝達をブロックする治療法です。体内に直径5cm程の装置と細いリード線(刺激電極)を植え込み、脊髄に微弱な電気を流すことで、つらい痛みが脳へ伝達されるのを防ぎます。



術後のレントゲン写真



リード
刺激装置

手術は約1時間



細いリード線を脊髄の近くの硬膜外腔という空間に挿入します。リードが直接脊髄に当たることはないため、安全で低侵襲な手術です。



Point
効果がなければ取り外すことも可能！

骨の切除や固定を行う一般的な手術とは異なり、万が一効果が感じられない場合は、装置一式を抜去することで(傷は残りますが)術前の状態に戻すことが可能です。

痛みの
スペシャリストが語る

診察室
こぼれ話



ちくぶ ひろと
担当医 竹生 浩人 医師

自身も元々痛いのが苦手だったことから“疼痛治療学”を学び、麻酔科へ入局。痛み(Pain)の治療を専門に行う診療科・ペインクリニック外来で勤務し、多くの患者さんを診る中で「診断から手術までできる医師になりたい」と整形外科へ転科。

専門分野：整形外科一般、麻酔全般
資格：日本麻酔科学会麻酔認定医、日本専門医機構認定麻酔科専門医、ペインクリニック学会専門医

痛みとは何か。



国際疼痛学会(IASP)では、痛みとは「実際の、あるいは潜在的な組織損傷に関連する、不快な感覚的・感情的な経験」と定義されています。つまり原因の有無にかかわらず、自分が「痛い」と感じるならばそれは「痛み」なのです。この感覚には心理的要因も深く関わるため、場合によってはメンタル面からも多角的にサポートを行うことが大切だと考えています。

痛みにも固執しない
ことも大事！



痛みの時間や程度を毎日気にしすぎると、脳が痛みを「重要な情報」と認識し、かえって敏感になってしまふことがあります。

一方で、好きな歌手のライブや読書などに夢中になっていると、痛みを忘れていたという経験はありませんか？好きなことに取り組む時間は、脳内に鎮痛物質が出るので、痛みを感じにくくなるといわれています。「痛みをゼロにしよう」と考え続けるのではなく、趣味や楽しみを持ちながら上手に付き合うことも大切です。



長引く痛みと うまくつきあう人生を。

TOPIC

1 あなたの痛みに寄り添います 「いたみの外科外来」

毎月第3・第5火曜に、あらゆる痛みに医学的に向き合う、五省会初の疼痛外来がスタートしました。

こんな外来です

痛みの原因を探し、
上手な付き合い方を
一緒に見つけましょう！

「いたみの外科外来」の対象となる慢性的な痛みは、日常生活に支障をきたすだけでなく、心にも影響を及ぼすことがあります。また、患部だけでなく神経の異常が関係している場合もあり、同じ病気でも痛みの感じ方は人それぞれです。「いたみの外科外来」では、痛みの原因や仕組みを丁寧に調べ、一人ひとりに合った治療法を提案します。痛みをゼロにすることだけを目標にするのではなく、痛みとうまく付き合いながら、その人らしい生活を続けられることを大切にしています。

診療の流れ

電話予約

完全予約制です
まずはお電話ください
☎076-422-1551

問診

詳しくお話を伺います
身体症状だけでなく、生活背景(睡眠・ストレスなど)も含めて多角的にお話を伺います。

各種検査

原因を徹底して調べます
画像検査、血液検査、生理検査(ABIなど)など、あらゆる検査を行います。

診断

痛みのタイプを判定します
整形外科的な原因があるかどうか、他の診療科の病気が隠れていないか総合的に判断します。

診断に基づき、大きく2つの治療アプローチに分かれます

注射や手術による治療が
適している方

神経ブロック注射や手術など、直接的に痛みの原因部へ働きかける専門的な治療を検討します。

NEW手術！
SCS

SCS(脊髄刺激療法)も
選択肢のひとつです。

次ページでご紹介！

お薬や生活改善が
適している方

薬物療法やリハビリ、運動・睡眠改善などを組み合わせて痛みのコントロールを目指します。

※心理的なサポートが有効と判断された場合は、専門的な心理療法が受けられる総合病院をご紹介します。



2026.6.16 START!

整形外科センター 西能クリニック
いたみの外科外来

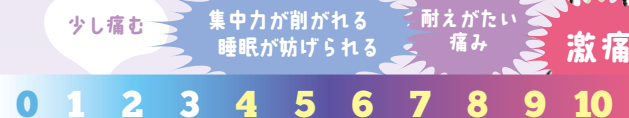
●第3・5火曜日 ●16:00～18:30

●完全予約制(診療時間枠30分)
お一人ずつ十分な診療時間を確保します！

こんな方を対象としています

慢性的な痛みにお悩みの方

- ・手術をしても痛みが続いている
- ・検査では異常がないと言われた
- ・腰痛や神経痛が長引いている
- ・片頭痛に悩んでいる



慢性的な痛み… 痛みを11段階で表す場合
「4」以上の痛みが3ヶ月以上続く状態をいいます。

もっと知りたい！ 脊髄刺激療法 SCS

痛みとうまくつきあう人生を。

術後の生活について

術後6～8週間、刺激装置とリードが体内で安定するまでは、激しい運動や体をねじる動作はNG。その後は普段通りの生活を送ることができます。

月に1度の定期診療

月に1度受診していただきます。その際に機器の調整や痛みの状況評価などを行います。不安なことがあればご相談いただけます。



自分で痛みをコントロール

コントローラ(スマホ)を使って、刺激のオン・オフ、強弱を調節することで、痛みのコントロールを患者さんご自身で行えるようになります。

操作方は入院中に一緒に練習しますのでご安心ください。また、不安がある方は慣れるまで訪問看護の看護師がサポートすることも可能です。



ご自宅で充電

刺激装置は充電式です。ご自宅で専用の充電器を使って充電していただきます。使用状況にもよりますが、3～5日に1回の充電が必要です。



充電器

Q&A

Q. 年齢制限はありますか？

A. 機器を操作できればOK

年齢制限はありません。ただし、機器を操作していただく必要があるため、ご自身で操作ができる方、あるいはご家族が操作を全面的にサポートできる方に限られます。



Q. 電流を流すとどんな感じがするの？

A. 個人差があります

全く何も刺激を感じないか、トントンというような感じ、または、マッサージをするような感じといわれています(個人差があります)。

Q. 装置に寿命はあるの？

A. バッテリーには寿命があります

使用状況によって異なりますが、約15年に1度バッテリー交換が必要に。交換は局所麻酔で行い、30分ほどの処置で終了します。

SCSを受けた患者さんインタビュー

歩くのがやっとだった痛みが半減。決断してよかった！



旅行にも
行けました！

森松和久さん
(65歳)



大好きな旅行のためにSCS手術を選択！

ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症手術を重ね、300m先へ歩くのがやっとの痛みが続き悩んでいた際、提案されたのがSCSでした。「効果がなければ局所麻酔で外せる」と聞き、それが決め手になりました。エジプト旅行にどうしても行きたいという目標が、背中を押してくれました。

痛みとうまくつきあいながら

術前と比べると痛みは半分程度まで和らぎました。痛みが全くなかったわけではありませんが、やってよかったと実感しています。充電時はじっとしているのが少し大変ですが、傷口の違和感も消え、術後半の今ではコルセットなしで草刈りができるまでに。今後はゴルフの再開や富士山登頂もしてみたいです！

竹生医師からのメッセージ

症状や痛みの感じ方が人によって異なるように、手術の効果にも個人差があります。お一人おひとりに合った治療方法を一緒に考えます。痛みに悩んでいる方はご相談ください。

整形外科センター

西能クリニック いたみの外科外来

●第3・5火曜日 ●16:00～18:30

●完全予約制(予約料5,500円)

ご予約・お問い合わせ

☎076-422-1551